

# 第16回川崎病全国調査成績

厚生科学研究費補助金による子ども家庭総合研究事業  
川崎病のサーベイランスとその治療法に関する研究班(2000年度)  
川崎病の発生実態及び長期予後に関する疫学的研究班(2001年度)

[連絡先] 〒329-0498 栃木県河内郡南河内町薬師寺3311-1  
自治医科大学公衆衛生学気付  
川崎病研究班疫学調査事務局  
事務連絡担当 屋代真弓

TEL 0285-44-6192

FAX 0285-44-7217

2001年8月31日

# 第16回川崎病全国調査成績

## はじめに

1970年以来2年に1回の間隔で15回にわたって、川崎病全国調査が行なわれてきた<sup>1-25)</sup>。今回1999年～2000年の2年間の患者を対象に実施した第16回川崎病全国調査の成績がまとまった。2年間の調査成績より、報告患者数、性・年齢分布、同胞例、再発例、心障害例（急性期、後遺症）、初診時の検査所見、治療状況、両親の既往歴等の疫学像が明らかになったのでその概要を報告する。

## I. 方法

第16回川崎病全国調査は、1999年1月1日より2000年12月31日の2年間に小児科を併設する100床以上の病院、および小児科のみを標榜する100床未満の専門病院を受診した川崎病初診患者を対象にした。調査を依頼した施設のリストは、厚生省健康政策研究会編「病院要覧1999-2000年版」（医学書院発行）によって作成した。対象候補施設数は2,619か所であった。（添付の調査票参照）

## II. 調査結果

### 1. 回収率

依頼状、調査票等を送付した2,657施設のうち、廃院等の連絡があった38施設を除く2,619施設を調査対象とした。回答は1,741施設から得られ、回収率は66.5%であった。そのうち、患者報告があった施設は1,077施設（回収施設の61.9%）であった。回収率は、都道府県によって44.0%～84.6%の開きがみられた。都道府県別の対象施設数、回答施設数、回収率、患者あり施設数、患者報告数は表1に示すとおりである。

### 2. 年次推移

今回の調査で報告された2年間の患者数は、1999年7,047人、2000年8,267人のあわせて15,314人であった。性別患者数は、男8,860人、女6,454人で、2年間平均の罹患率は0-4歳人口10万対130.0（男146.7、女112.4）であった。患者数の性比は1.37、罹患率の性比は1.31で男が多かった。過去15回に報告された患者を含めると2000年12月末までの患者数は、合計169,117人（男98,132人、女70,985人）になった。患者数の年次推移をみると、表2、図1に示すように、男女とも1970年頃から着実に増加する傾向がみられる。これまでに1979年、1982年、1986年の3回にわたり全国規模の流行がみられた。また、1994年以降はゆるやかに増加の傾向を示し、1999年には患者数が7,000人を超え、1979年の第1回目の流行よりも多くなっていた。さらに2000年には8,000人を超え、この数は史上第3位である。罹患率の年次推移をみると、3回めの流行直後に比べて1994年には37%増加し100を超した。1995年以降も増加傾向が持続し、1998年には51%増加して111.5、2000年には90%増加して140を超えている。過去3回の全国規模の流行は、いずれも数か月間の限られた期間内に患者数が著しく増加したのに対して、最近の傾向は、毎年6,000人以上の患者が発生し、増加傾向が持続するという特徴に変わってきている。このような変化は、川崎病の増加傾向がわが国に定着したことを示すもので、詳細な疫学解析、原因究明を目的とした強力な研究体制の確立が必要であり、さらに今後の動きを注意深く見守っていく必要がある。

図2は罹患率の年次推移を性別にみたものであり、男女とも同じような傾向を示している。

### 3. 月別推移

2年間の月別、性別患者数を図3に示す。秋（10～11月）は少なめであり、すべての月で男が多かった。特に2000年はすべての月で患者数が多く、特に1月、12月は他の月に比べて患者数が多い。2000年は各月とも患者数の多い月がだらだらと続き、9月、10月、11月に一旦減少した後、再度12月に増加しており、今後の動きが非常に注目される。

## 4. 年齢分布

患者数の年齢別分布をみると、3歳未満の者が全体の70.4%（男70.9%、女69.7%）を占めていた。1999年、2000年平均の性・年齢別罹患率は、男女とも9-11か月にピークがみられる一峰性のカーブを示していた（人口10万対男269.9、女186.4、計229.2）。2000年のみでみると男女とも6-8か月に小さな窪みがみられる二峰性の山がみられた。罹患率の性比は、月齢が15-17か月の者で最も大きく1.50であった（表3、図4）。

## 5. 地域分布

2年間の患者住所都道府県別報告数の最も多いのは、東京1,536人、次いで神奈川1,190人、大阪975人、愛知875人の順であった（表4）。

過去6年間の都道府県別罹患率を0-4歳の人口10万に対する割合で計算したものが表5である（都道府県別罹患率の分母は、1995-1997年は1995年国勢調査人口、1998-2000年は2000年3月の住民基本台帳人口を使用し、全国の罹患率は各年次の推定人口を用いて計算した。ただし2000年は前年の人口を使用）。過去6年間の年次推移をみると、1999年または2000年に罹患率が著しく増加したところとして、佐賀、三重、福井などがあげられた。また6年間全体を通して低いところとして、沖縄、長崎、山梨などがあげられた。

1999年、2000年の各年について、都道府県別罹患率の地図を作成した（図5）。都道府県によって回収率が異なるので、未回収施設も同じ患者数があると仮定して回収率を100%に補正して、0-4歳人口10万対罹患率の地域差を示した。1999年は関東、近畿、四国、九州の一部の地域に罹患率の高いところがみられたが、2000年には、九州から関東まで多くの都道府県に罹患率の高いところが拡大していた。東北の一部の県と北海道も高い罹患率を示していた。このことから2000年には全国的な拡がりをもつ異常発生があったことが推測される。

## 6. 診断

診断基準への一致度をみると、定型例82.1%（男82.3%、女82.0%）、不定型例4.1%（男4.3%、女3.7%）、容疑例13.8%（男13.4%、女14.3%）であった。

なお、定型例は「川崎病診断の手引き」に示された6つの主要症状のうち5つ以上の症状を伴う者、不定型例は4つの症状しか認められなくても、経過中に断層心エコー法もしくは、心血管造影法で、冠動脈瘤（いわゆる拡大を含む）が確認され、他の疾患が除外された者をいう。また容疑例は上記のいずれにも合致しないが、主治医が川崎病の疑いありと診断した者をいう。

## 7. 検査項目

今回、新たに調査項目に加えた初診時のヘモグロビン値およびALT（GPT）値、血清Na値の分布を年齢別に比較した。ヘモグロビン値では、若年齢では10g/dl未満および11g/dl未満の低い値の者が多く、年齢が高くなるにつれて12g/dl以上または13g/dl以上の高い値の者が多くなった（図6）。

ALT（GPT）値の分布では、6か月未満の若年齢では50IU/l未満の低い値の割合が高くなっていた。一方、100IU/l以上の高い値を示す者は年齢と共に増加する傾向がみられたが、明らかな年齢差はみられなかった（図7）。

血清Na値の分布では、136mEq/l未満の低値を示す者の割合は、2-4歳で最も多く、低年齢および高年齢で少なくなっていた（図8）。

## 8. 家族歴

同胞例ありの割合は報告患者中1.1%（男1.3%、女0.9%）であった。性・年齢別にみると、男は3歳まで上昇し、下降後また上昇していた。女は年齢とともに上昇する傾向がみられた。今回調査に加えた、両親のいずれかに川崎病の既往歴ありの者は35人報告され、報告患者中0.23%（男0.28%、女0.15%）であった。

## 9. 再発例

再発例の割合は報告患者中3.2%（男3.4%、女3.0%）であった。性・年齢別にみると男女とも年齢とともに上昇していた。

## 10. 死亡例

死亡例は2年間に8人（男7人、女1人）報告され0.05%であった。性別には男が圧倒的に多く、年齢別には0-11か月が0.17%で最も高かった（表6）。

## 11. 心障害例

第15回全国調査から心障害については、発病後1か月以内に出現した急性期の心障害と1か月以降も残存する後遺症にわけて調査を実施している。

心障害例（急性期）の割合は報告患者中18.1%（男20.4%、女14.8%）であり、男が女に比べて1.4倍の高率を示していた。心障害（急性期）ありの者の割合を性・年齢別にみると男女とも6か月未満の若年児と高年児が高く、1歳に窪みをもつゆるやかなU型のカーブを示していた。各年齢とも女は男に比べて低かった（図9上）。

心障害例（後遺症）の割合は報告患者中5.9%（男7.1%、女4.4%）であり、男が高率を示していた。心障害例（急性期）に比べて男女とも約1/3に低下していた。心障害（後遺症）ありの者の割合を性・年齢別にみると男女とも6か月未満の若年児と高年児が高く、2歳に窪みをもつゆるやかなU型のカーブを示していた。各年齢とも女は男に比べて低かった（図9下）。

心障害（急性期）の種類別の割合は報告患者中、冠動脈の拡大14.10%、瘤2.60%、弁膜病変1.62%、巨大瘤0.46%、狭窄0.01%、心筋梗塞0.02%であった。男女別にみると弁膜病変以外すべて男が高かった。出現率を2歳未満と、2歳以上の2区分に分けてみると、拡大、弁膜病変の出現率は2歳以上でやや高率にみられた。瘤、巨大瘤、心筋梗塞、狭窄の出現率は2歳未満の若年児に高率にみられた。

心障害（後遺症）の種類別の割合は報告患者中、冠動脈の拡大3.40%、瘤1.87%、巨大瘤0.40%、弁膜病変0.37%、狭窄0.08%、心筋梗塞0.04%であった。男女別にみると、弁膜病変以外すべて男が高かった。出現率を2歳未満と、2歳以上の2区分に分けてみると、拡大、弁膜病変の出現率は2歳以上でやや高率にみられ、それ以外は2歳未満の若年児に高率にみられた。これは急性期と同様であった（表7）。

## 12. 初診時および治療開始時病日

患者の初診日は第4病日が多く23.4%であり、第4病日までに受診した者は61.7%を占めていた。2歳未満と2歳以上の2区分に分けてみると、第4病日までに受診した者は2歳未満の者では66.3%を占めていたが、2歳以上の者では56.5%であり、2歳未満の若年児が早く受診する傾向を示していた。

ガンマグロブリンの投与開始日は第5病日が多く32.9%であった。年齢別にみると、2歳未満が早く投与を開始する傾向がみられ、第5病日までに投与を開始した者の割合は2歳未満では67.8%、2歳以上では58.3%であった（表8）。

## 13. ガンマグロブリン治療

ガンマグロブリンの治療を受けた者は86.0%（男86.5%、女85.3%）を占めていた。

ガンマグロブリンの1日あたりの投与量は、300-499mg/kgの者が最も多く44.3%、次いで900-1099mg/kgの者29.4%、1900-2099mg/kgの者12.3%となっていた。200mg/kg、400mg/kg、1000mg/kg、2000mg/kgちよどと、その他という区分では、400mg/kgが最も多く34.7%、次いで1000mg/kg27.9%、その他21.2%、2000mg/kg12.0%の順であった。投与期間は5日が最も多く、44.3%、次いで1日25.1%、2日19.5%であった。前回に比べて1日、2日の大量投与が増加した（表9）。

ガンマグロブリンの1日投与量と使用日数から計算した使用総量は、1900-2099mg/kgが最も多く62.1%、次いで900-1099mg/kgが16.5%、1100-1299mg/kgが5.7%であった。1000mg/kg、2000mg/kgちょうど、その他という区分では、2000mg/kgが最も多く59.2%、次いでその他26.0%、1000mg/kg14.8%の順であった(図10)。

### Ⅲ. 要約

1. 2年間の報告患者数は15,314人であった。
2. 月別患者数は男女とも、秋(10~11月)は少なめであり、すべての月で男が多かった。特に2000年はすべての月で患者数が多く、1月、12月は他の月に比べて患者数がかなり増加していた。
3. 性、年齢別罹患率は男女とも9~11か月にピークを示す一峰性のカーブであった。
4. 0-4歳人口10万対罹患率は、1999年が119.6(男135.8、女102.6)、2000年は140.3(男157.5、女122.2)であった。
5. 罹患率の地域差をみると、2000年には、九州から関東まで多くの都道府県および東北の一部の県と北海道に罹患率の高いところが拡大していた。このことから2000年には全国的な拡がりをもつ異常発生があったことが推測される。
6. 診断基準への一致度をみると、定型例82.1%(男82.3%、女82.0%)、不定型例4.1%(男4.3%、女3.7%)、容疑例13.8%(男13.4%、女14.3%)であった。
7. 同胞例、再発例、心障害(急性期)例、心障害(後遺症)例の出現頻度は、それぞれ1.1%(男1.3%、女0.9%)、3.2%(男3.4%、女3.0%)、18.1%(男20.4%、女14.8%)、5.9%(男7.1%、女4.4%)であった。両親のいずれかに川崎病の既往歴がある者の割合は0.23%(男0.28%、女0.15%)であった。
8. 死亡例は2年間に8人(男7人、女1人)報告され、全体の0.05%を占めていた。
9. 心障害(急性期)の内容は、冠動脈の拡大14.10%、瘤2.60%、弁膜病変1.62%、巨大瘤0.46%、狭窄0.01%、心筋梗塞0.02%であり弁膜病変以外すべて男が高く、年齢別には、拡大、弁膜病変の出現率は2歳以上でやや高率にみられた。瘤、巨大瘤、心筋梗塞、狭窄の出現率は2歳未満の若年児に高率にみられた。
10. 心障害(後遺症)の内容は、冠動脈の拡大3.40%、瘤1.87%、巨大瘤0.40%、弁膜病変0.37%、狭窄0.08%、心筋梗塞0.04%であり、急性期と同様に、弁膜病変以外すべて男が高く、年齢別には、拡大、弁膜病変の出現率は2歳以上でやや高率にみられ、瘤、巨大瘤、心筋梗塞、狭窄の出現率は2歳未満の若年児に高率にみられた。
11. 患者の初診日は第4病日が最も多く、2歳未満の若年児がやや早く受診していた。
12. ガンマグロブリンの治療を受けた者は86.0%を占め、1日あたり投与量は400mg/kgの者がもっとも多かった。次いで1000mg/kgの者が多く、1日大量投与が増加した。また総投与量は、1900-2099mg/kgが最も多く59.2%、次いで900-1099mg/kgが16.5%、1100-1299mg/kgが5.7%であった。
13. 年齢別にみた検査項目値は、ヘモグロビン値では、若年齢では10g/dl未満および11g/dl未満の低い値の者が多く、年齢が高くなるにつれて12g/dl以上または13g/dl以上の高い値の者が多くなった。ALT(GPT)値の分布では、6か月未満の若年齢では50IU/l未満の低い値の割合が高くなっていた。一方、100IU/l以上の高い値を示す者は年齢と共に増加する傾向がみられたが、明らかな年齢差はみられなかった。血清Na値の分布では、136mEq/l未満の低値を示す者の割合は、2~4歳で最も多く、低年齢および高年齢で少なくなっていた。

## 文献

- 1) 小児MCLS研究班(班長:神前章雄). 小児MCLS全国調査成績, 昭和45年度予備調査成績と昭和46年度個人調査成績の概要. 1971.
- 2) 重松逸造, 柳川洋. いわゆる川崎病について. 日本公衛誌 1975;22(6):306-312.
- 3) 柳川洋. 川崎病の実態. 公衆衛生情報 1975;5(12):22-29.
- 4) 柳川洋. 川崎病の疫学. 日本臨床 1976;34(2):275-283.
- 5) 川崎病研究班. 最近(1977-78年)におけるMCLS(川崎病)の実態, -第5回全国調査結果の速報-. 小児科 1979;20(7):755-757.
- 6) 川崎病研究班. MCLS(川崎病の多発) -第6回全国調査成績の速報-. 小児科 1981;22(1):53-58.
- 7) 川崎病研究班. 最近(1981年1月-82年6月)におけるMCLS(川崎病)の実態, -第7回全国調査成績の速報-. 小児科 1983;24(1):53-58.
- 8) 厚生省川崎病研究班. 第8回川崎病全国調査成績. 小児科 1985;26(9):1049-1053.
- 9) 厚生省川崎病研究班. 第9回川崎病全国調査成績. 小児科 1987;28(9):1059-1066.
- 10) 厚生省川崎病研究班. 第10回川崎病全国調査成績. 小児科 1990;31(5):569-576.
- 11) 厚生省川崎病研究班. 第11回川崎病全国調査成績. 小児科 1992;33(3):309-316.
- 12) 厚生省川崎病研究班. 第12回川崎病全国調査成績. 小児科 1994;35(1):61-73.
- 13) 厚生省川崎病研究班. 第13回川崎病全国調査成績. 小児科 1996;37(4):363-383.
- 14) 厚生省川崎病研究班. 第14回川崎病全国調査成績. 小児科診療 1998;61(3):406-420.
- 15) 厚生省川崎病研究班. 第15回川崎病全国調査成績. 小児科診療 2000;63(1):121-132.
- 16) 柳川洋. 川崎病の全国調査成績. 川崎病疫学データのすべて(日本心臓財団川崎病原因究明委員会編). 東京:ソフトサイエンス社, 1986;37-51.
- 17) 柳川洋, 屋代真弓, 藤田委由. 川崎病の全国調査成績. 川崎病(川崎富作, 重松逸造, 濱島義博, 柳川洋, 加藤裕久編). 東京:南江堂, 1988;18-31.
- 18) Kawasaki T, Kosaki F, Okawa S, Shigematsu I, Yanagawa H. A new infantile acute febrile mucocutaneous lymph node syndrome (MLNS) prevailing in Japan. Pediatrics 1974; 54:271-276.
- 19) Yanagawa H, Kawasaki T, Shigematsu I. Nationwide survey on Kawasaki disease in Japan. Pediatrics 1987;80:58-62.
- 20) Yanagawa H, Nakamura Y, Yashiro M, Fujita Y, Nagai M, Kawasaki T, Aso S, Imada Y, Shigematsu I. A nationwide survey of Kawasaki disease in 1985-1986 in Japan. J Infect Dis 1988;158(6):1296-1301.
- 21) Yanagawa H, Yashiro M, Nakamura Y, Kawasaki T, Kato H. Epidemiologic pictures of Kawasaki disease in Japan: From the nationwide survey in 1991 and 1992. Pediatrics 1995;95(4):475-479.
- 22) Yanagawa H, Yashiro M, Nakamura Y, Kawasaki T, Kato H. Results of 12 nationwide epidemiological incidence surveys of Kawasaki disease in Japan. Arch Pediatr Adolesc Med 1995;149:779-783.
- 23) Yanagawa H, Nakamura Y, Yashiro M, Ojima T, Koyanagi H, Kawasaki T. Update of the epidemiology of Kawasaki disease in Japan, From the results of 1993-94 nationwide survey. J Epidemiol 1996;6(3):148-157.
- 24) Yanagawa H, Nakamura Y, Yashiro M, Ojima T, Tanihara S, Oki I, Zhang T. Results of the nationwide epidemiologic survey of Kawasaki disease in 1995 and 1996 in Japan. Pediatrics 102(6). URL:<http://www.pediatrics.org/cgi/content/full/102/6/e65>.
- 25) Yanagawa H, Nakamura Y, Yashiro M, Oki I, Hirata S, Zhang T, Kawasaki T. Incidence survey of Kawasaki disease in 1997 and 1998 in Japan. Pediatrics 2001;107(3). URL:<http://www.pediatrics.org/cgi/content/full/107/3/e33>.

[ 表 1 ] 都道府県別回収状況

	対象施設数	回答施設数	回収率	患者あり 施設数	患者 報告数*
総 数	2,619	1,741	66.5	1,077	15,314
1 北海道	152	97	63.8	59	571
2 青森	41	26	63.4	14	141
3 岩手	41	24	58.5	15	123
4 宮城	48	36	75.0	22	266
5 秋田	30	25	83.3	14	122
6 山形	25	18	72.0	13	165
7 福島	62	46	74.2	25	228
8 茨城	68	43	63.2	21	341
9 栃木	37	26	70.3	15	265
10 群馬	42	30	71.4	18	337
11 埼玉	111	67	60.4	36	605
12 千葉	94	54	57.4	37	822
13 東京	190	126	66.3	77	1,618
14 神奈川	121	84	69.4	56	1,168
15 新潟	55	41	74.5	27	237
16 富山	29	20	69.0	14	98
17 石川	38	25	65.8	14	133
18 福井	24	19	79.2	10	144
19 山梨	25	11	44.0	6	66
20 長野	54	36	66.7	27	276
21 岐阜	44	32	72.7	22	204
22 静岡	54	43	79.6	35	453
23 愛知	124	75	60.5	50	867
24 三重	32	24	75.0	20	272
25 滋賀	27	21	77.8	17	153
26 京都	65	39	60.0	26	335
27 大阪	169	97	57.4	66	963
28 兵庫	109	72	66.1	46	777
29 奈良	26	22	84.6	17	152
30 和歌山	22	15	68.2	13	132
31 鳥取	15	11	73.3	6	68
32 島根	25	17	68.0	9	56
33 岡山	46	31	67.4	20	207
34 広島	57	43	75.4	29	393
35 山口	44	32	72.7	20	186
36 徳島	26	18	69.2	10	110
37 香川	27	22	81.5	15	149
38 愛媛	39	25	64.1	13	135
39 高知	27	15	55.6	8	63
40 福岡	101	74	73.3	39	875
41 佐賀	24	17	70.8	7	71
42 長崎	44	31	70.5	13	191
43 熊本	60	38	63.3	14	242
44 大分	24	19	79.2	12	158
45 宮崎	21	10	47.6	7	132
46 鹿児島	43	22	51.2	12	172
47 沖縄	37	22	59.5	11	72

\*施設所在地の都道府県別患者数

[表2] 性別患者数、罹患率、死亡数、致命率の推移

年次	患者数			0～4歳10万対年間罹患率			死亡数 (致命率%)
	計	男	女	計	男	女	
～1964	88	58	30	1.1	1.4	0.8	—
1965	61	33	28	0.8	0.8	0.7	—
1966	79	49	30	1.0	1.2	0.8	—
1967	101	60	41	1.2	1.4	1.0	2(1.98)
1968	310	177	133	3.7	4.1	3.2	6(1.94)
1969	461	281	180	5.3	6.3	4.3	9(1.95)
1970	887	527	360	10.1	11.8	8.4	10(1.13)
1971	804	480	324	8.7	10.1	7.1	10(1.24)
1972	1,135	658	477	12.0	13.5	10.4	16(1.41)
1973	1,524	928	596	15.6	18.4	12.5	34(2.23)
1974	1,963	1,157	806	19.7	22.6	16.7	20(1.02)
1975	2,216	1,332	884	22.3	26.1	18.3	16(0.72)
1976	2,337	1,406	931	23.9	28.0	19.6	15(0.64)
1977	2,798	1,706	1,092	29.3	34.8	23.5	17(0.61)
1978	3,459	2,064	1,395	37.7	43.7	31.2	14(0.40)
1979	6,867	3,987	2,880	78.0	88.1	67.3	34(0.50)
1980	3,932	2,317	1,615	46.5	53.4	39.2	8(0.20)
1981	6,383	3,677	2,706	78.3	87.9	68.2	16(0.25)
1982	15,519	8,762	6,757	196.1	215.8	175.4	46(0.30)
1983	5,961	3,441	2,520	77.3	86.9	67.1	15(0.25)
1984	6,514	3,790	2,724	86.0	97.5	73.9	17(0.26)
1985	7,611	4,430	3,181	102.1	116.4	87.1	10(0.13)
1986	12,847	7,250	5,597	176.8	194.7	157.9	18(0.14)
1987	5,256	3,066	2,190	73.8	84.0	63.1	9(0.17)
1988	5,217	3,056	2,161	75.3	86.0	64.1	4(0.08)
1989	5,591	3,251	2,340	83.6	94.7	71.9	8(0.14)
1990	5,706	3,268	2,438	88.1	98.4	77.3	12(0.21)
1991	5,677	3,354	2,323	90.1	103.8	75.7	7(0.12)
1992	5,544	3,250	2,294	89.9	102.8	76.4	2(0.04)
1993	5,389	3,155	2,234	89.1	101.6	75.9	11(0.20)
1994	6,069	3,574	2,495	101.1	115.9	85.4	2(0.03)
1995	6,107	3,548	2,559	102.6	116.4	88.2	6(0.09)
1996	6,424	3,691	2,733	108.4	121.6	94.6	4(0.06)
1997	6,373	3,690	2,683	108.0	122.0	93.2	9(0.14)
1998	6,593	3,799	2,794	111.5	125.3	96.9	2(0.03)
1999	7,047	4,102	2,945	119.6	135.8	102.6	3(0.04)
2000	8,267	4,758	3,509	140.3	157.5	122.2	5(0.06)
計	169,117	98,132	70,985	—	—	—	417(0.25)

\* 罹患率の計算には人口動態統計の分母に用いる日本人人口（5年ごとの国勢調査人口および各年次の推計人口で、人口動態統計に掲載されているもの。ただし、2000年は1999年の推計人口）を用いた。前回の1998年は1997年の人口を用いたので今回1998年の人口で修正した。死亡数について、過去のデータの再点検を行い訂正したために、前回までと一致しない。



[ 表 3 ] 年齢別、年次別、性別患者数

	患者数								
	総数			1999年			2000年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	15,314	8,860	6,454	7,047	4,102	2,945	8,267	4,758	3,509
0- 2月	346	180	166	172	93	79	174	87	87
3- 5月	1,186	708	478	545	325	220	641	383	258
6- 8月	1,213	728	485	598	356	242	615	372	243
9-11月	1,350	815	535	647	394	253	703	421	282
12-17月	2,264	1,352	912	1,069	648	421	1,195	704	491
18-23月	1,812	1,033	779	812	447	365	1,000	586	414
2歳	2,613	1,470	1,143	1,193	670	523	1,420	800	620
3歳	1,713	969	744	772	451	321	941	518	423
4歳	1,218	701	517	553	314	239	665	387	278
5歳	774	445	329	346	207	139	428	238	190
6歳	382	213	169	156	98	58	226	115	111
7歳	220	123	97	96	49	47	124	74	50
8歳	98	54	44	43	20	23	55	34	21
9歳	56	29	27	22	16	6	34	13	21
10歳	69	40	29	23	14	9	46	26	20

[ 表 4 ] 患者住所都道府県別、年次別、性別患者数

	患 者 数								
	総 数			1999年			2000年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総 数	15,314	8,860	6,454	7,047	4,102	2,945	8,267	4,758	3,509
1 北海道	570	309	261	263	141	122	307	168	139
2 青森	140	85	55	66	41	25	74	44	30
3 岩手	124	80	44	58	36	22	66	44	22
4 宮城	271	158	113	118	72	46	153	86	67
5 秋田	120	67	53	47	27	20	73	40	33
6 山形	161	83	78	75	45	30	86	38	48
7 福島	223	137	86	94	52	42	129	85	44
8 茨城	362	199	163	151	83	68	211	116	95
9 栃木	248	159	89	127	78	49	121	81	40
10 群馬	327	192	135	156	88	68	171	104	67
11 埼玉	699	420	279	347	218	129	352	202	150
12 千葉	804	463	341	384	235	149	420	228	192
13 東京	1,536	876	660	684	371	313	852	505	347
14 神奈川	1,190	660	530	543	303	240	647	357	290
15 新潟	236	136	100	117	63	54	119	73	46
16 富山	97	56	41	44	18	26	53	38	15
17 石川	134	70	64	53	27	26	81	43	38
18 福井	139	76	63	60	35	25	79	41	38
19 山梨	65	37	28	34	22	12	31	15	16
20 長野	275	155	120	131	74	57	144	81	63
21 岐阜	207	127	80	96	48	48	111	79	32
22 静岡	454	265	189	204	126	78	250	139	111
23 愛知	875	524	351	387	237	150	488	287	201
24 三重	271	153	118	121	78	43	150	75	75
25 滋賀	156	93	63	78	42	36	78	51	27
26 京都	317	173	144	152	85	67	165	88	77
27 大阪	975	582	393	440	272	168	535	310	225
28 兵庫	771	427	344	353	200	153	418	227	191
29 奈良	157	96	61	76	46	30	81	50	31
30 和歌山	129	62	67	62	32	30	67	30	37
31 鳥取	59	32	27	26	14	12	33	18	15
32 島根	65	43	22	36	27	9	29	16	13
33 岡山	205	124	81	89	52	37	116	72	44
34 広島	390	229	161	186	107	79	204	122	82
35 山口	180	95	85	77	37	40	103	58	45
36 徳島	108	74	34	57	42	15	51	32	19
37 香川	134	73	61	58	33	25	76	40	36
38 愛媛	148	81	67	80	47	33	68	34	34
39 高知	63	39	24	23	15	8	40	24	16
40 福岡	831	486	345	402	233	169	429	253	176
41 佐賀	169	112	57	86	57	29	83	55	28
42 長崎	185	96	89	86	47	39	99	49	50
43 熊本	193	129	64	80	51	29	113	78	35
44 大分	160	97	63	62	40	22	98	57	41
45 宮崎	130	77	53	59	34	25	71	43	28
46 鹿児島	174	100	74	73	44	29	101	56	45
47 沖縄	71	43	28	34	19	15	37	24	13
48 不明	16	10	6	12	8	4	4	2	2

[ 表 5 ] 都道府県別、年次別罹患率

年次 県名	1995	1996	1997	1998	1999	2000
全 国	102.6	108.4	108.0	111.5	119.6	140.3
1 北海道	102.3	92.7	101.2	102.9	109.6	127.9
2 青森	106.9	105.6	83.3	102.9	97.1	108.8
3 岩手	59.4	94.2	82.6	109.5	92.1	104.8
4 宮城	69.0	82.3	77.9	86.2	108.3	140.4
5 秋田	62.3	79.2	49.1	83.3	97.9	152.1
6 山形	116.7	126.7	106.7	123.6	136.4	156.4
7 福島	45.0	55.9	70.3	78.6	91.3	125.2
8 茨城	80.8	78.1	84.2	116.1	105.6	147.6
9 栃木	118.6	107.2	103.1	136.2	135.1	128.7
10 群馬	105.1	107.1	119.2	138.1	160.8	176.3
11 埼玉	95.3	96.8	85.5	85.6	103.9	105.4
12 千葉	136.3	126.0	117.9	118.3	140.7	153.8
13 東京	140.8	141.7	138.0	142.8	143.4	178.6
14 神奈川	126.0	119.9	118.9	127.9	135.4	161.3
15 新潟	89.8	83.9	85.6	89.3	104.5	106.3
16 富山	90.0	82.0	84.0	78.0	88.0	106.0
17 石川	126.3	138.6	103.5	123.2	94.6	144.6
18 福井	71.4	123.8	104.8	97.6	146.3	192.7
19 山梨	86.7	95.6	95.6	76.7	79.1	72.1
20 長野	116.7	113.9	118.5	106.6	123.6	135.8
21 岐阜	81.6	88.3	97.1	113.7	94.1	108.8
22 静岡	82.5	107.7	115.8	113.5	114.6	140.4
23 愛知	93.8	83.1	92.4	85.4	106.9	134.8
24 三重	83.3	95.6	86.7	80.9	136.0	168.5
25 滋賀	85.5	85.5	113.0	138.6	111.4	111.4
26 京都	113.7	128.2	118.8	125.6	129.9	141.0
27 大阪	96.0	114.0	100.2	108.2	103.0	125.3
28 兵庫	105.0	114.9	138.5	136.2	131.7	156.0
29 奈良	79.4	85.3	85.3	92.6	111.8	119.1
30 和歌山	141.2	180.4	149.0	149.0	126.5	136.7
31 鳥取	140.0	136.7	70.0	117.9	92.9	117.9
32 島根	83.3	111.1	105.6	103.0	109.1	87.9
33 岡山	78.5	100.0	112.9	72.3	94.7	123.4
34 広島	108.6	132.9	105.7	98.5	135.8	148.9
35 山口	97.1	125.0	127.9	116.7	116.7	156.1
36 徳島	170.3	127.0	121.6	158.3	158.3	141.7
37 香川	104.3	104.3	117.0	123.4	123.4	161.7
38 愛媛	93.0	95.8	97.2	111.9	119.4	101.5
39 高知	66.7	111.1	94.4	129.4	67.6	117.6
40 福岡	132.9	132.9	120.7	145.5	171.1	182.6
41 佐賀	69.6	89.1	84.8	109.1	195.5	188.6
42 長崎	91.1	101.3	110.1	58.1	66.7	76.7
43 熊本	95.7	100.0	106.5	100.0	92.0	129.9
44 大分	96.6	113.8	106.9	112.7	112.7	178.2
45 宮崎	76.7	83.3	115.0	75.4	103.5	124.6
46 鹿児島	56.7	73.3	60.0	70.4	90.1	124.7
47 沖縄	26.7	37.2	41.9	28.6	40.5	44.0

都道府県別罹患率は1995-1997年は1995年国勢調査人口、1998-2000年は2000年3月の住民基本台帳人口を用いて計算した。

全国の罹患率は各年次の推計人口を用いて計算した(ただし2000年は前年の推計人口を使用)。

現住所不明のものは計算から除外した。

[表6] 性別、年齢別死亡例の割合

総数		総数	死亡例	(%)
			15,314	8
性別	男	8,860	7	0.08
	女	6,454	1	0.02
年齢別	0～11か月	4,095	7	0.17
	12～23か月	4,076	1	0.02
	2歳～4歳	5,544	—	—
	5歳以上	1,599	—	—

[表7] 種類別、性別、年齢別心障害の出現率

		総数	巨大瘤	瘤	拡大	狭窄	心筋梗塞	弁膜病変	
急性期	総数	15,314 (100.0)	71 (0.46)	398 (2.60)	2,160 (14.10)	1 (0.01)	3 (0.02)	248 (1.62)	
	性別	男	8,860 (100.0)	54 (0.61)	275 (3.10)	1,418 (16.00)	1 (0.01)	3 (0.03)	135 (1.52)
		女	6,454 (100.0)	17 (0.26)	123 (1.91)	742 (11.50)	—	—	113 (1.75)
	年齢別	2歳未満	8,171 (100.0)	41 (0.50)	225 (2.75)	1,128 (13.80)	1 (0.01)	2 (0.02)	120 (1.47)
		2歳以上	7,143 (100.0)	30 (0.42)	173 (2.42)	1,032 (14.45)	—	1 (0.01)	128 (1.79)
後遺症	総数	15,314 (100.0)	62 (0.40)	287 (1.87)	521 (3.40)	12 (0.08)	6 (0.04)	57 (0.37)	
	性別	男	8,860 (100.0)	48 (0.54)	209 (2.36)	359 (4.05)	11 (0.12)	4 (0.05)	23 (0.26)
		女	6,454 (100.0)	14 (0.22)	78 (1.21)	162 (2.51)	1 (0.02)	2 (0.03)	34 (0.53)
	年齢別	2歳未満	8,171 (100.0)	37 (0.45)	172 (2.11)	268 (3.28)	7 (0.09)	4 (0.05)	28 (0.34)
		2歳以上	7,143 (100.0)	25 (0.35)	115 (1.61)	253 (3.54)	5 (0.07)	2 (0.03)	29 (0.41)

[ 表 8 ] 年齢別、初診時およびガンマグロブリン投与開始時病日の分布

		総数 (%)	2歳未満 (%)	2歳以上 (%)
* 初診時	総 数	15,296 (100.0)	8,161 (100.0)	7,135 (100.0)
	第1病日	692 ( 4.5)	437 ( 5.4)	255 ( 3.6)
	第2病日	2,020 (13.2)	1,210 (14.8)	810 (11.4)
	第3病日	3,150 (20.6)	1,816 (22.3)	1,334 (18.7)
	第4病日	3,578 (23.4)	1,945 (23.8)	1,633 (22.9)
	第5病日	2,936 (19.2)	1,409 (17.3)	1,527 (21.4)
	第6病日	1,502 ( 9.8)	685 ( 8.4)	817 (11.5)
	第7病日	667 ( 4.4)	303 ( 3.7)	364 ( 5.1)
	第8病日	318 ( 2.1)	132 ( 1.6)	186 ( 2.6)
	第9病日	141 ( 0.9)	66 ( 0.8)	75 ( 1.1)
	第10病日以上	292 ( 1.9)	158 ( 1.9)	134 ( 1.9)
** ガンマグロブリン投与時	総 数	12,829 (100.0)	6,872 (100.0)	5,957 (100.0)
	第1病日	21 ( 0.2)	10 ( 0.1)	11 ( 0.2)
	第2病日	231 ( 1.8)	146 ( 2.1)	85 ( 1.4)
	第3病日	1,058 ( 8.2)	679 ( 9.9)	379 ( 6.4)
	第4病日	2,606 (20.3)	1,552 (22.6)	1,054 (17.7)
	第5病日	4,217 (32.9)	2,274 (33.1)	1,943 (32.6)
	第6病日	2,430 (18.9)	1,197 (17.4)	1,233 (20.7)
	第7病日	1,192 ( 9.3)	526 ( 7.7)	666 (11.2)
	第8病日	522 ( 4.1)	205 ( 3.0)	317 ( 5.3)
	第9病日	252 ( 2.0)	110 ( 1.6)	142 ( 2.4)
	第10病日以上	300 ( 2.3)	173 ( 2.5)	127 ( 2.1)

\* 初診時病日不明18人を除く15,296人を集計

\*\* ガンマグロブリン使用例13,167人のうち1日投与量、投与日数、投与開始時病日不明338人を除く12,829人を集計

[表9] ガンマグロブリン1日投与量 (mg/kg) 別、投与日数の分布

		総数(%)	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上
総数		12,946(100.0)	3,252	2,521	803	540	5,732	98
-299mg/kg		1,034(8.0)	23	30	83	65	813	20
-499mg/kg		5,740(44.3)	33	81	516	261	4,780	69
-699mg/kg		529(4.1)	15	77	121	187	123	6
-899mg/kg		104(0.8)	19	47	24	6	6	2
-1099mg/kg		3,802(29.4)	1,458	2,255	59	20	9	1
-1299mg/kg		76(0.6)	54	20	0	1	1	0
-1499mg/kg		9(0.1)	7	2	0	0	0	0
-1699mg/kg		19(0.1)	18	1	0	0	0	0
-1899mg/kg		31(0.2)	31	0	0	0	0	0
-2099mg/kg		1,590(12.3)	1,582	8	0	0	0	0
2100mg/kg+		12(0.1)	12	0	0	0	0	0
再掲	200mg/kg	545(4.2)	11	20	47	16	443	8
	400mg/kg	4,496(34.7)	23	61	396	164	3,815	37
	1000mg/kg	3,612(27.9)	1,387	2,140	56	20	8	1
	2000mg/kg	1,549(12.0)	1,541	8	0	0	0	0
	その他	2,744(21.2)	290	292	304	340	1,466	5

\* ガンマグロブリン使用例13, 167人のうち1日投与量、投与日数不明221人を除く  
12,946人を集計

図1 年次別、性別患者数

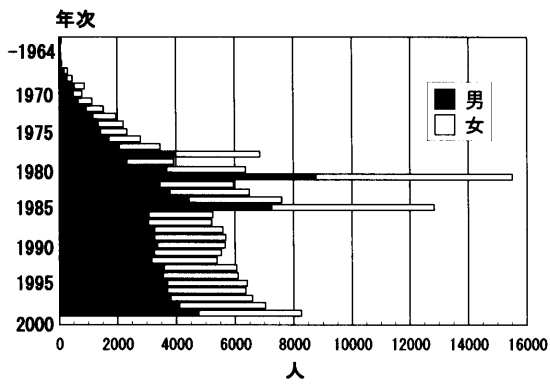


図2 年次別、性別罹患率

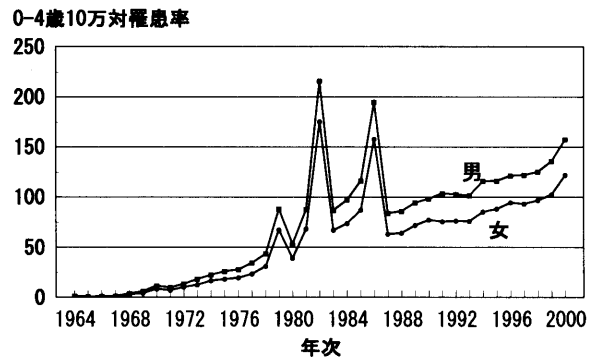


図3 月別、性別患者数

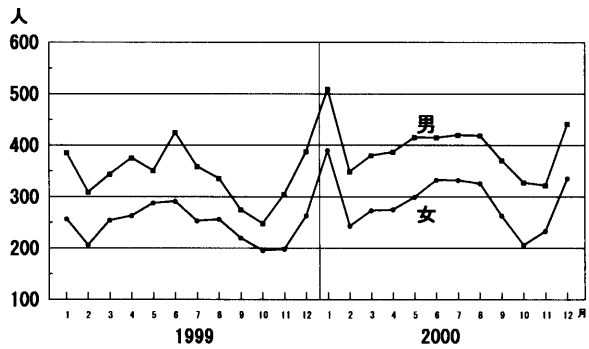


図4 性別、年齢別罹患率

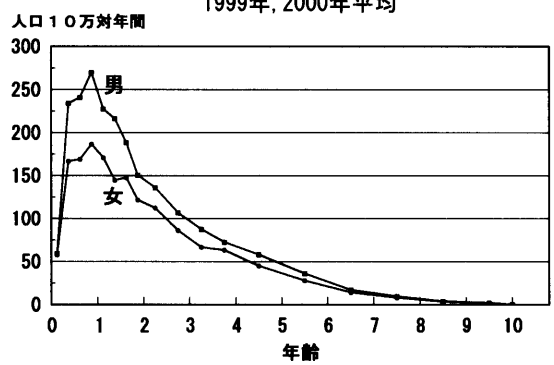


図5 都道府県別罹患率

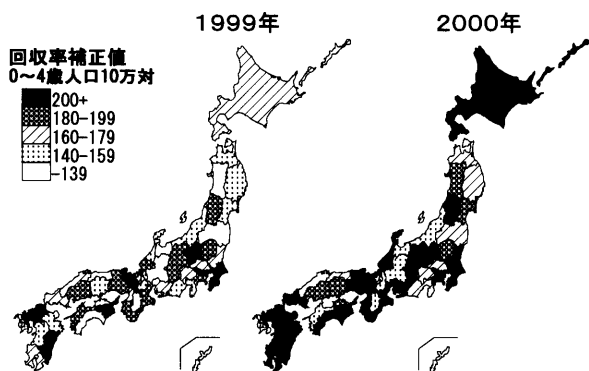
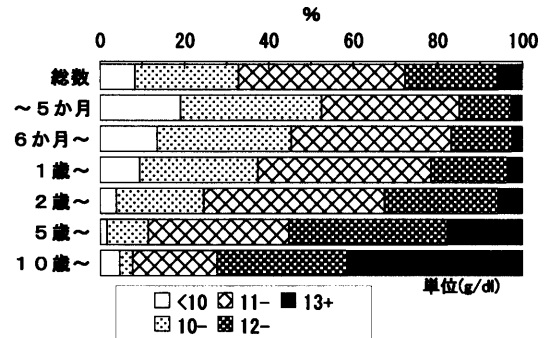
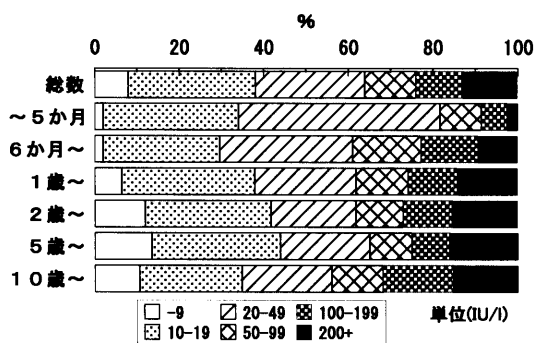


図6 年齢別ヘモグロビン値の分布



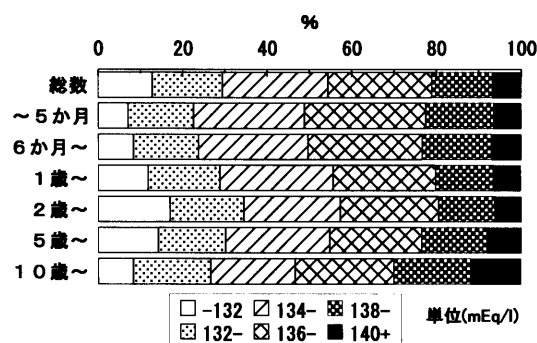
\*ヘモグロビン検査値ありの者14,637人を集計

図7 年齢別ALT (GPT) 値の分布



\*ALT (GPT) 検査値ありの者14, 727人を集計

図8 年齢別血清Na値の分布



\*血清Na検査値ありの者13, 569人を集計

図9 性別、年齢別心障害の出現率

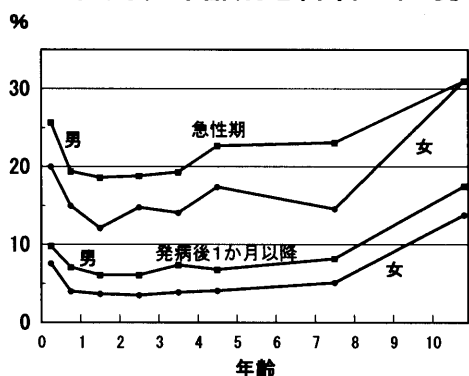
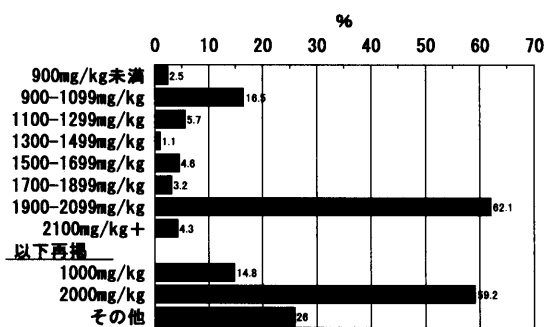


図10 ガンマグロブリン使用総量の分布



\*ガンマグロブリン使用例13, 167人のうち1日投与量、投与日数不明221人を除く12, 946人を集計

第1回全国調査以来終始変わらぬご協力を賜った関係医療機関の小児科医各位に対し、本研究班として深く感謝します。  
今回の調査にご協力いただいた医療機関名を付記します。



# 第16回全国調査協力施設名（都道府県別、順不同）

## 1:北海道

国立療養所西札幌病院  
国立函館病院  
国立札幌病院  
国立療養所道北病院  
北大医学部附属病院  
札幌鉄道病院  
N T T 東日本札幌病院  
札幌医科大総合病院  
道立札幌肢体不自由児総合療育センター  
道立旭川肢体不自由児総合療育センター  
道立紋別病院  
道立羽幌病院  
市立札幌病院  
市立函館病院  
市立江別総合病院  
千歳市立総合病院  
市立三笠総合病院  
国民健康保険町立栗沢病院  
岩見沢市立総合病院  
市立美瑛病院  
歌志内市立病院  
砂川市立病院  
市立赤平総合病院  
市立芦別病院  
深川市立総合病院  
市立旭川病院  
美瑛町立病院  
名寄市立総合病院  
北檜山町立国民健康保険病院  
森町国民健康保険病院  
市立室蘭総合病院  
苫小牧市立総合病院  
白老町立国民健康保険病院  
町立芽室病院  
町立中標津病院  
町立別海病院  
市立稚内病院  
栗山赤十字病院  
伊達赤十字病院  
浦河赤十字病院  
清水赤十字病院  
総合病院釧路赤十字病院  
社会事業協会・余市病院  
社会事業協会・帯広病院  
厚生連総合病院札幌厚生病院  
厚生連沼田厚生病院  
厚生連総合病院旭川厚生病院  
厚生連美深厚生病院  
厚生連総合病院網走厚生病院  
厚生連総合病院遠軽厚生病院  
北海道社会保険中央病院  
国家公務員共済組合連合会斗南病院  
夕張市立総合病院  
新日鉄室蘭総合病院  
函館五稜郭病院  
函館中央病院  
天使病院  
大原病院  
札幌社会保険総合病院  
曾我病院  
五輪橋産科婦人科小児科病院  
ふかざわ病院  
育愛会札幌東豊病院  
静仁会静内病院  
慶愛病院  
道東勤医協釧路協立病院  
幸北病院  
国立療養所帯広病院  
自衛隊札幌病院  
木古内町国民健康保険病院  
国家公務員共済組合連合会幌南病院  
今金町国保病院  
本別町国民健康保険病院  
北海道療育園  
勤医協中央病院  
（医社）友愛会恵愛病院  
（医療）使徒ルカ会手稲ルカ病院  
道立小児総合保健センター  
愛静病院  
清和会 南札幌病院  
美瑛労災病院  
道北勤医協 一条クリニック  
小島病院  
恵庭第一病院

市立士別総合病院  
八雲総合病院  
勤医協札幌北区病院  
医療法人研成会札幌鈴木木病院  
札幌マタニティウィメンズホスピタル  
医療法人徳洲会札幌徳洲会病院  
手稲溪仁会病院  
（医療法人）道南勤医協函館稜北病院  
（医療法人）北農会恵み野病院  
豊岡中央病院  
釧路市医師会病院  
シロアムマタニティクリニック  
斜里町国民健康保険病院

## 2:青森県

国立弘前病院  
弘前大学医学部附属病院  
青森県立中央病院  
青森市民病院  
八戸市立市民病院  
黒石市国保黒石病院  
国民健康保険鶴田町立中央病院  
国民健康保険五所川原市立西北中央病院  
公立金木病院  
鱈ヶ沢町立中央病院  
公立野辺地病院  
むつ総合病院  
八戸赤十字病院  
青森県立はまなす学園  
あおもり協立病院  
国立療養所八戸病院  
市立三沢病院  
（医療）慈仁会 尾野病院  
（医療）誠仁会 尾野病院  
弘前市立病院  
弘前中央病院  
国立療養所岩木病院  
津軽保健生活協同組合健生病院  
美保野病院  
医療法人赤心会十和田東病院  
医療法人正恵会石田温泉病院

## 3:岩手県

岩手県立釜石病院  
岩手県立宮古病院  
岩手県立花巻厚生病院  
岩手県立胆沢病院  
岩手県立高田病院  
岩手県立福岡病院  
岩手県立軽米病院  
盛岡市立病院  
釜石市民病院  
盛岡赤十字病院  
北上済生会病院  
岩手医科大学附属病院  
もりおかこども病院  
盛岡友愛病院  
国療釜石病院  
岩手県立山田病院  
岩手県立北上病院  
国療岩手病院  
内丸病院  
盛岡南病院  
川久保病院  
国保葛巻病院  
東八幡平病院  
岩手県立千歳病院

## 4:宮城県

国立仙台病院  
国療宮城病院  
J R 仙台病院  
仙台通信病院  
仙台市立病院  
塩釜市立病院  
古川市立病院  
公立刈田総合病院  
丸森町国保丸森病院  
公立黒川病院  
公立佐沼総合病院  
総合病院仙台赤十字病院  
石巻赤十字病院  
東北厚生年金病院  
東北公済病院  
（財）宮城厚生協会坂総合病院

（医療）本多友愛会仙南病院  
岩切病院  
南東北病院  
東北大学加齢医学研究所附属病院発達病態研究分野（小児腫瘍科）  
女川町立病院  
国療西多賀病院  
仙台社保病院  
宮城社会保険病院  
光ヶ丘スベルマン病院  
東北労災病院  
自衛隊仙台病院  
仙台市医療センター仙台オーブン病院  
（財）宮城厚生協会 長町病院  
松涛会南浜中央病院  
宮城県拓桃医療療育センター  
医療法人徳洲会仙台徳洲会病院  
社都中央病院  
中嶋病院  
財団法人宮城厚生協会古川民主病院  
公立米谷病院

## 5:秋田県

大館市立総合病院  
比内町立扇田病院  
男鹿みなと市民病院  
秋田市立秋田総合病院  
公立角館総合病院  
公立横手病院  
秋田赤十字病院  
山本組合総合病院  
湖東総合病院  
平鹿総合病院  
雄勝中央病院  
中通総合病院  
土崎病院  
外旭川病院  
医療法人青嵐会本荘第一病院  
佐藤病院  
秋田社会保健病院  
大曲中通病院  
町立大森病院  
公立米内沢総合病院  
秋田大学医学部附属病院  
秋田県太平洋療育園  
北秋中央病院  
藤原記念病院  
国療秋田病院

## 6:山形県

山形県立中央病院  
山形県立新庄病院  
天童市立天童病院  
山形市立病院済生館  
市立酒田病院  
鶴岡市立荘内病院  
公立高島病院  
公立置賜総合病院  
米沢市立病院  
済生会 山形済生病院  
（医療）篠田好生会篠田総合病院  
県立日本海病院  
山形県立河北病院  
山形大学医学部附属病院  
鶴岡協立病院  
順仁堂遊佐病院  
国療山形病院  
医療法人舟山病院

## 7:福島県

国立郡山病院  
福島県立医科大学附属病院  
福島県立三春病院  
福島県立会津総合病院  
公立岩瀬病院  
公立小野町地方総合病院  
いわき市立総合磐城共立病院  
国保原町市立病院  
総合病院福島赤十字病院  
済生会 福島総合病院  
白河厚生総合病院  
塙厚生病院  
高田厚生病院  
坂下厚生総合病院  
社保福島二本松病院

(財) 大原総合病院  
(財) 太田総合病院附属太田記念病院  
(財) 太田総合病院附属太田熱海病院  
(財) 寿泉堂総合病院  
(財) 竹田総合病院  
(財) 竹林病院  
福島整肢療護園  
財団法人大原総合病院附属大原医療センター  
財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院  
総合会津中央病院  
新生会内科小児科佐藤病院  
小高町立病院  
県立南会津病院  
国療福島病院  
総合保原中央病院  
福島県厚生農協組合連双葉厚生病院  
(財) 星総合病院  
(財) 松村総合病院  
(医療) 保科病院  
(医療) 土屋病院  
(社医) 呉羽総合病院  
医療法人慈久会 谷病院  
済生会川俣病院  
国立療養所翠ヶ丘病院  
中村病院  
医療生協わたり病院  
医療法人昨雲会飯塚病院附属有隣病院  
福島西部病院  
福島県心身障害児総合療育センター  
医療法人明信会今泉西病院  
公立相馬総合病院

### 8: 茨城県

国立水戸病院  
国立霞ヶ浦病院  
茨城県立こども福祉医療センター  
茨城県立中央病院  
水戸済生会総合病院  
社会福祉法人恩賜財団済生会 波崎済生病院  
総合病院水戸協同病院  
国公共済連水府病院  
総合病院東京医科大学霞ヶ浦病院  
日鉦記念病院  
日立製作所 水戸総合病院  
城南病院  
つくばセントラル病院  
医療法人慈愛会秋葉産婦人科小児科病院  
県立こども病院  
那珂中央病院  
ひたちなか母と子の病院  
水海道さくら病院  
双葉会つくば双愛病院  
青潤会 青柳病院  
威恵会 三岳荘小松崎病院  
県西総合病院  
(医療) 愛宣会 秦病院  
(医療) 盡誠会 宮本病院  
株式会社日立製作所日立総合病院  
筑波大学附属病院  
茨城県立コロニーあすなろ病院  
(医療) 住吉クリニック病院  
(医療) 仁愛会 茅根病院  
(医療) 愛正会 田尻ヶ丘病院  
悼慈会日立港病院  
(医療) 常仁会牛久愛和総合病院  
(財) 筑波学園病院  
(医療) 厚友会 城西病院  
友愛記念病院  
北茨城市立総合病院  
総合病院取手協同病院  
高萩協同病院  
医療法人筑波記念病院  
きぬ医師会病院  
慶友会守谷慶友病院  
茨城西南医療センター病院  
国立療養所晴嵐荘病院

### 9: 栃木県

国立栃木病院  
小山市民病院  
大田原赤十字病院  
済生会 宇都宮病院  
上都賀総合病院  
下都賀総合病院  
石橋総合病院  
佐野厚生総合病院  
宇都宮社会保険病院  
日光市民病院  
那須野が原菅間病院

国療東宇都宮病院  
真岡病院  
矢板南病院  
光南病院  
医療法人社団友志会野木病院  
国療足利病院  
自治医科大学附属病院  
獨協医科大学病院小児科(内分泌・血液)  
黒須病院  
今井病院  
菅又病院  
(医療) 慈啓会 白澤病院  
栃木県身体障害医療福祉センター  
西方病院  
更西病院

### 10: 群馬県

国立高崎病院  
国立沼田病院  
群馬大学医学部附属病院  
群馬県立がんセンター  
桐生厚生総合病院  
碓氷病院  
伊勢崎市民病院  
館林厚生病院  
前橋赤十字病院  
原町赤十字病院  
公立富岡総合病院  
社保群馬中央総合病院  
富士重工工業健康保険組合総合太田病院  
利根中央病院  
上毛泌尿器科記念善衆会病院  
医療法人樹心会角田病院  
本島総合病院  
県立小児医療センター  
両毛整肢療護園  
群馬県済生会 前橋病院  
(医療) 慈光会 慈光会病院  
重症心身障害児施設はんなさわらび療育園  
希望の家療育病院  
国療西群馬病院  
群馬整肢療護園  
高崎中央病院  
小児科佐藤病院  
太田福島総合病院  
北毛保健生活協同組合北毛病院  
下仁田厚生病院

### 11: 埼玉県

国立西埼玉中央病院  
国立埼玉病院  
蕨市立病院  
春日部市立病院  
草加市立病院  
大宮赤十字病院  
総合病院小川赤十字病院  
埼玉県済生会川口総合病院  
埼玉厚生農協連能谷総合病院  
社保埼玉中央病院  
社保大宮総合病院  
川口工業総合病院  
(財) 東松山医師会病院  
(医社) 東光会戸田中央総合病院  
(医療) 健仁会 益子病院  
(医療) ヘブロン会大宮中央総合病院  
愛友会 上尾中央総合病院  
愛生会病院  
医療法人 熊谷福島病院  
北里研究所メディカルセンター病院  
医療法人愛和会愛和病院  
西武産婦人科小児科病院  
川口市立医療センター  
ヘリオス会病院  
聖心会南古谷病院  
秩父市立病院  
本庄総合病院  
土屋小児病院  
清水病院  
一心会上尾甕生病院  
飯能中央病院  
(医療) 本庄 福島病院  
浦和市立病院  
国療東埼玉病院  
越谷市立病院  
埼玉厚生連幸手総合病院  
(医社) 協友会 吉川中央総合病院  
朝霞台中央総合病院  
(医社) 協友会八潮中央総合病院  
防衛医科大学校病院

(医療) 聖仁会 西部総合病院  
(医社) 東光会 戸田中央産院  
埼玉協同病院  
至誠堂富田病院  
(医社) 青葉会 新座病院  
(医療) 関越病院  
(医療) 誠壽会 上福岡総合病院  
(医療) 光仁会 春日部厚生病院  
(医療) 仁愛会 東埼玉総合病院  
秋谷病院  
独協医科大学越谷病院  
東鷲宮病院  
医療法人財団健和会みさと健和病院  
埼玉筑波病院  
医療法人一心会伊奈病院  
医療法人社団堀ノ内病院  
医療法人赤心堂病院  
埼玉医科大学総合医療センター  
関本記念病院  
東松山市立市民病院  
医療法人啓仁会川島病院  
医療法人上武病院  
医療法人社団哺育会白岡中央病院  
医療法人光仁会春日部東部クリニック  
越谷北病院  
小林病院  
至聖病院

### 12: 千葉県

国立千葉病院  
国立精神・神経センター国府台病院  
国療下志津病院  
千葉大学医学部附属病院  
千葉県立佐原病院  
千葉県立東金病院  
千葉県循環器病センター  
千葉市立病院  
浦安市市川市民病院組合浦安市市川市民病院  
国保松戸市立病院  
銚子市立総合病院  
総合病院国保旭中央病院  
公立長生病院  
国保国吉病院  
成田赤十字病院  
川崎製鉄健保組合千葉病院  
九十九里ホーム病院  
東京歯科大学市川総合病院  
みつわ台総合病院  
千葉西病院  
医療法人社団圭春会小張総合病院  
岬病院  
東京都立成東児童保健院  
高根病院  
東邦大学医学部附属佐倉病院  
野田病院  
日本医科大学附属千葉北総病院  
佐倉中央病院  
国保小見川総合病院  
(医療) 聖峰会 岡田病院  
国療千葉東病院  
千葉社会保険病院  
(医社) 千葉健生病院  
(医療) 鳳生会 藤立病院  
千葉県厚生リハビリテーションセンター  
市川東病院  
(医財) 明理会新松戸中央総合病院  
国立佐倉病院  
(医社) 東光会 北総白井病院  
(医社) 上総会 山之内病院  
(医療) 公明会 塩田病院  
千葉労災病院  
(医社) 勤労者医協船橋二和病院  
(医社) 協友会 柏厚生総合病院  
千葉県立海浜病院  
順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院  
医療法人川崎病院  
船橋市立医療センター  
(医社) 愛友会 流山病院  
医療法人社団保健会谷津保健病院  
医療法人社団誠高会小金原病院  
医療法人三矢会八街総合病院  
帝京大学医学部附属市原病院  
東京慈恵会医科大学附属柏病院

### 13: 東京都

国立がんセンター中央病院  
国立国際医療センター  
国立小児病院  
国立大蔵病院

国立病院東京医療センター小児科  
東京大学医学部附属病院分院  
東京大学病院  
東京医科歯科大学病院  
東京専売病院  
J R 東京総合病院  
自衛隊中央病院  
都立駒込病院  
都立墨東病院  
都立母子保健院  
都立広尾病院  
東京都立大塚病院  
都立北療育医療センター  
都立豊島病院  
都立清瀬小児病院  
青梅市立総合病院  
日野市立総合病院  
稲城市立病院  
町田市立病院  
公立昭和病院  
総合病院大森赤十字病院  
日本赤十字社医療センター  
葛飾赤十字産院  
武蔵野赤十字病院  
東京都済生会中央病院  
社保中央総合病院  
社保都南総合病院  
東京厚生年金病院  
虎の門病院  
総合病院三宿病院  
東京共済病院  
東京警察病院  
聖路加国際病院  
北里研究所病院  
永寿総合病院  
（財）日産厚生会 玉川病院  
（社）至誠会 第二病院  
練馬総合病院  
（財）仁和会総合病院  
（財）天誠会 武蔵境病院  
医療法人社団 健生堂病院  
（医財）寿康会病院  
（医社）江東病院  
（医社）松井病院  
田園調布中央病院  
（医財）河北総合病院  
（医社）関川病院  
（医）西新井病院  
（医社）同愛会病院  
（医社）大坪会 北多摩病院  
（医財）大和会東大和病院  
杏林大学病院  
日本大学駿河台病院  
東京慈恵会医科大学病院  
東京女子医科大学病院  
慶応義塾大学病院  
日本医科大学病院  
昭和大学病院  
東邦大学 大橋病院  
東邦大学 大森病院  
東京女子医科大学 第2病院  
日本大学 附属板橋病院  
慈恵医科大学 青戸病院  
慈恵医科大学 附属病院第3病院  
小平記念東京日立病院  
東急病院  
三井記念病院  
（社福）聖母会 聖母病院  
浅草寺病院  
（社福）賛育会 賛育会病院  
同愛記念病院  
久我山病院  
東京医療生協組合 中野総合病院  
立正佼成会 附属佼成病院  
東京衛生病院  
（社福）新栄会 滝野川病院  
（社福）勝楽堂病院  
（社福）仁生社 江戸川病院  
（社福）慈生会 慈生会病院  
（社福）日本心身障害者協会島田療育センター  
（社福）東京都同胞援護会昭島病院  
（医社）時正会 佐々総合病院  
医療法人社団赤仁会市川第二病院  
北部セントラル病院  
財団法人東京都保健医療公社東部地域病院  
医療法人社団日心会総合病院一心病院  
りんご会東十条病院  
まつしま産婦人科小児科病院

財団法人東京都保健医療公社多摩南部地域病院  
三医会鶴川厚生病院  
吉川内科小児科病院  
五葉会ファウンズ産婦人科病院  
都立東大和療育センター  
小畑会浜田病院  
中林病院  
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院  
産科婦人科久保田病院  
東京大学医学研究所附属病院  
都立府中療育センター  
（医財）健康文化会 小豆沢病院  
緑風荘病院  
世田谷下田総合病院  
敬愛病院  
権島病院  
森本病院  
公立阿伎留病院  
都立府中病院  
帝京大学医学部附属病院  
（医社）誠志会 誠志会病院  
都立八王子小児病院  
東京健生病院  
ゆたか病院  
（医社）板橋中央総合病院  
（医社）明芳会高島平中央総合病院  
東京都立神経病院  
国立精神神経センター武蔵病院  
医療法人社団 健生会立川相互病院  
医療法人社団 誠和会白鬚橋病院  
王子生協病院  
心身障害児総合医療療育センター  
日本大学医学部附属練馬光が丘病院  
医療法人社団大坪会東和病院

#### 14: 神奈川県

国立横須賀病院  
国立相模原病院  
神奈川県立厚木病院  
神奈川県立足柄上病院  
横浜市立港湾病院  
横浜市立大学医学部附属浦舟病院  
川崎市立川崎病院  
平塚市民病院  
茅ヶ崎市立病院  
三浦市立病院  
大和市立病院  
横浜赤十字病院  
（財）済生会 神奈川県病院  
相模原協同病院  
社保横浜中央病院  
健保総合 川崎社会保険病院  
社保 相模野病院  
横浜船員保険病院  
住友重機械健保組合 浦賀病院  
国公共済連横浜南共済病院  
国公共済連総合病院横須賀共済病院  
国公共済連 稲田登戸病院  
（財）神奈川県警友会けいけいゆう病院  
大口東総合病院  
（医療）柏堤会 戸塚共立病院  
（医療）愛仁会 太田総合病院  
（医社）亮正会総合高津中央病院  
日本医科大学 附属第二病院  
（株）日立製作所 戸塚総合病院  
国際親善総合病院  
（社福）日本医療伝道会総合病院衣笠病院  
（社福）湘南福祉協会総合病院湘南病院  
総合相模更生病院  
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院  
中央林間病院  
鈴木病院  
医療法人産育会堀病院  
西横浜国際総合病院  
医療法人大樹会佐藤病院  
湘南鎌倉病院  
石田産婦人科  
相模原療育園  
横浜労災病院  
横浜市立大学医学部附属病院  
三喜会横浜新緑総合病院  
聖ルカ会バンフィックホスピタル  
仁愛会海老名総合病院附属東病院  
国立横浜東病院  
関東労災病院  
横浜市小児アレルギーセンター  
総合病院秦野赤十字病院  
厚生連総合病院伊勢原協同病院

国公共済連 虎の門病院分院  
（社団）日本厚生団長津田厚生総合病院  
総合病院横浜通信病院  
藤沢市民病院  
（財）横浜勤労者福祉協会汐田総合病院  
小澤病院  
昭和大学 藤が丘病院  
聖マリアンナ医科大学病院  
東海大学病院  
北里大学病院  
帝京大学 溝口病院  
川崎医療生協 川崎協同病院  
神奈川リハビリテーション病院  
済生会 横浜市南部病院  
（医社）明芳会横浜旭中央総合病院  
神奈川県衛生看護専門学校附属病院  
（医社）青葉会 牧野記念病院  
（医療）誠医会 宮川病院  
横須賀市立市民病院  
西湘病院  
南大和病院  
（医療）徳洲会 大和徳洲会病院  
（医社）愛友会 金沢文庫病院  
プラザ記念病院  
（医社）仁愛会 海老名総合病院  
相武台病院  
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院  
医療法人社団緑成会横浜総合病院  
医療法人財団石心会川崎幸クリニック  
新中川病院  
国立小児病院二宮分院  
医療法人社団柏綾会綾瀬厚生病院

#### 15: 新潟県

新潟大学医学部附属病院  
新潟県立ガンセンター新潟病院  
新潟県立新発田病院  
新潟県立吉田病院  
新潟県立加茂病院  
新潟県立小出病院  
新潟県立十日町病院  
水原郷病院  
巻町国保病院  
町立津南病院  
済生会 三条病院  
豊栄病院  
長岡中央総合病院  
栃尾郷病院  
魚沼病院  
上越総合病院  
頤南病院  
糸魚川総合病院  
佐渡総合病院  
小千谷総合病院  
上村病院  
（医療）立川総合病院  
済生会新潟第二病院  
県立妙高病院  
尾山病院  
共生会中条中央病院  
亀田第一病院  
聖園病院  
宮内クリニック  
新潟南病院  
木戸病院  
新潟こばり病院  
両津市民病院  
新潟労災病院  
新潟県はまぐみ小児療育センター  
国民健康保険町立ゆきぐに大和総合病院  
新潟県立坂町病院  
国立療養所西新潟中央病院  
下越病院  
長岡療育園  
厚生連村上総合病院

#### 16: 富山県

上市厚生病院  
新湊市民病院  
市立砺波総合病院  
富山赤十字病院  
富山県済生会 富山病院  
富山県済生会 高岡病院  
厚生連高岡病院  
厚生連滑川病院  
社会保険 高岡病院  
高木総合病院  
三輪病院  
公立学校共済組合北陸中央病院

国療北陸病院  
公立井波総合病院  
国療富山病院  
氷見市民病院  
富山医科薬科大学附属病院  
富山県立高志学園  
富山医療生活協同組合富山協立病院  
富山労災病院

17: 石川県

国立金沢病院  
国立山中病院  
石川県立中央病院  
金沢市立病院  
市立輪島病院  
公立松任石川中央病院  
公立つるぎ病院  
金沢社会保険病院  
金沢聖霊総合病院  
松田小児科病院  
恵寿総合病院  
恵愛病院  
産婦人科荒木病院  
浅ノ川総合病院  
国療医王病院  
国保町立根上総合病院  
城北病院  
金沢医科大学病院  
石川整肢学園  
金沢西病院  
国療七尾病院  
国療石川病院  
公立宇出津総合病院  
医療法人社団和楽仁辰口芳珠記念病院  
国民健康保険志雄病院

18: 福井県

公立丹南病院  
福井県立病院  
町立三国病院  
市立敦賀病院  
公立小浜病院  
福井赤十字病院  
福井県済生会病院  
福井社会保険病院  
(医療) 安川病院  
国立療養所北潟病院  
福井県小児療育センター  
笠原病院  
福井心臓血圧センター福井循環器病院  
(医療) 福井愛育病院  
福井医科大学病院  
社保高浜病院  
福井厚生病院  
斉藤病院  
産婦人科・小児科玉井病院

19: 山梨県

山梨県立中央病院  
富士吉田市立病院  
社保山梨病院  
桃花会一宮温泉病院  
石和共立病院  
山梨赤十字病院  
国療西甲府病院  
甲府共立病院  
上野原町立病院  
山梨県立あけぼの医療福祉センター  
市川大門町立病院

20: 長野県

国立長野病院  
国立松本病院  
長野県立阿南病院  
長野県立木曾病院  
長野県立須坂病院  
佐久町立千曲病院  
諏訪中央病院  
伊那中央総合病院  
市立大町総合病院  
下伊那赤十字病院  
豊科赤十字病院  
長野赤十字病院  
飯山赤十字病院  
長野県厚生農協連 佐久総合病院  
長野県厚生農協連 北信総合病院  
長野県厚生農協連 新町病院  
(医療) 慈泉会 相澤病院  
長野市民病院

佐久市立国保浅間総合病院  
国療中信松本病院  
昭和伊南総合病院  
(医療) 丸の内病院  
町営辰野総合病院  
飯田市立病院  
城西病院  
小海赤十字病院  
国保依田窪病院  
(医療) 健救会 柳沢病院  
長野県厚生農業組合連合会富士見高原病院  
長野県厚生農業組合連合会篠ノ井総合病院  
医療法人新生病院  
長野松代総合病院  
御代田中央記念病院  
健和会病院  
波田総合病院  
松本協立病院

21: 岐阜県

国療長良病院  
国療恵那病院  
岐阜県立多治見病院  
羽島市民病院  
国保関ヶ原病院  
大垣市民病院  
美濃市立美濃病院  
白鳥町国保白鳥病院  
土岐市立総合病院  
総合病院中津川市民病院  
金山町国民健康保険病院  
総合病院 高山赤十字病院  
岐阜県厚生農業協同組合連合会岐北総合病院  
岐阜県厚生農協連 養老中央病院  
岐阜県厚生農協連 揖斐総合病院  
岐阜県厚生農協連 総合病院昭 and 病院  
岐阜社会保険病院  
公立学校共済組合 東海中央病院  
郡上広域行政事務組合郡上中央病院  
博愛会病院  
木沢記念病院  
タジミ第1病院  
みどり病院  
海津郡医師会病院  
医療法人藤掛病院  
岐阜大学医学部附属病院  
岐阜県立下呂温泉病院  
国保神岡町病院  
(医社) 誠公会 平野総合病院  
国保坂下病院  
藤掛第一病院  
岐阜県厚生連久美愛病院

22: 静岡県

国立静岡病院  
国立東静岡病院  
国療天竜病院  
N T T 東日本伊豆病院  
静岡県立総合病院  
静岡市立静岡病院  
沼津市立病院  
富士市立中央病院  
富士宮市立病院  
清水市立病院  
共立蒲原総合病院  
藤枝市立総合病院  
焼津市立総合病院  
榛原総合病院  
掛川市立総合病院  
共立菊川総合病院  
公立森町病院  
磐田市立総合病院  
袋井市立袋井市民病院  
共立湖西総合病院  
伊豆赤十字病院  
裾野赤十字病院  
総合病院 浜松赤十字病院  
静岡済生会総合病院  
総合病院 静岡厚生病院  
総合病院 清水厚生病院  
遠州総合病院  
県西部浜松医療センター  
聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院  
聖隷福祉事業団総合病院聖隷三方原病院  
日本大学医学部付属稲取病院  
済生会静岡県支部医療福祉センター児童部  
社保三島病院  
(社) 有隣厚生会 富士病院  
清風会 芹沢病院

浜松医科大学附属病院  
浜松労災病院  
社保桜ヶ丘総合病院  
社会保険浜松病院  
浜松北病院  
富士小山病院  
町立浜岡総合病院  
引佐赤十字病院

23: 愛知県

国立名古屋病院  
国立豊橋病院  
国療中部病院  
名古屋大学病院  
(J R) 東海総合病院  
名古屋通信病院  
名古屋市立東市民病院  
名古屋市立城北病院  
名古屋市立城西病院  
名古屋市立大学病院  
豊橋市民病院  
岡崎市民病院  
市立半田病院  
豊川市民病院  
津島市民病院  
公立尾陽病院  
西尾市民病院  
蒲郡市民病院  
稲沢市民病院  
常滑市民病院  
新城市民病院  
名古屋第一赤十字病院  
名古屋第二赤十字病院  
愛知県済生会病院  
愛知県厚生連海南病院  
愛知県厚生農協連 加茂病院  
愛知県厚生農協連 更生病院  
愛知県厚生農協連 昭 and 病院  
愛知県厚生農協連 愛北病院  
社保中京病院  
名鉄病院  
東海病院  
名古屋療済会病院  
(財) 名港福厚協会 臨港病院  
上飯田第一病院  
総合大雄会病院  
刈谷総合病院  
松陽会 松浦病院  
三菱会 古屋病院  
トヨタ記念病院  
愛知県立第二青い鳥学園  
青和会 中央病院  
純正会 東洋病院  
秋田病院  
名南病院  
一心会加藤産婦人科病院  
碧南市民病院  
県立尾張病院  
豊田地域医療センター  
豊成会竹内病院  
医仁会さくら病院  
平竹病院  
山田病院  
双葉会藤田病院  
名古屋市立緑市民病院  
中部労災病院  
N T T 東海総合病院  
南生協病院  
藤田保健衛生大学病院  
藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院  
愛知医科大学病院  
福祉会 高須病院  
(医療) 宝美会 総合青山病院  
(医療) 志聖会 大山中央病院  
愛知県厚生農協連 尾西病院  
(医療) 済衆館病院  
愛知県厚生農協連 知多厚生病院  
旭労災病院  
医療法人財団新和会八千代病院  
国立療養所豊橋東病院  
一宮市立市民病院今伊勢分院  
医療法人青山病院  
医療法人宏和会山口病院  
医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院  
高浜市立病院

24: 三重県

国療鈴鹿病院  
国立三重中央病院

三重県立総合医療センター  
三重大学病院  
三重県志摩病院  
桑名市民病院  
市立四日市市民病院  
（総合病院）松阪市民病院  
市立伊勢総合病院  
上野総合市民病院  
尾鷲総合病院  
紀南病院  
山田赤十字病院  
済生会松阪総合病院  
三重県厚生連 松阪中央総合病院  
四日市社会保険病院  
山本総合病院  
二宮病院  
岡波総合病院  
三重県厚生連 鈴鹿中央総合病院  
名張市立病院  
国療三重病院  
津生協病院  
医療法人ヨナハ総合病院

**25:滋賀県**

公立甲賀病院  
彦根市立病院  
市立長浜病院  
伊香郡病院組合立湖北総合病院  
公立高島総合病院  
長浜赤十字病院  
済生会滋賀県病院  
社会保険滋賀病院  
重症心身障害児施設第一びわこ学園  
誠光会草津総合病院  
国保能登川病院  
蒲生町国保蒲生町病院  
重症心身障害児施設第二びわこ学園  
国立滋賀病院  
（医療）彦根中央病院  
滋賀医科大学病院  
野洲病院  
国療紫香楽病院  
医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院  
日野記念病院  
友仁山崎病院

**26:京都府**

国立舞鶴病院  
京都大学病院  
京都専売病院  
京都市立病院  
公立南丹病院  
市立舞鶴市民病院  
京都第二赤十字病院  
京都第一赤十字病院  
舞鶴赤十字病院  
舞鶴共済病院  
総合病院 日本バプテスト病院  
（社）愛生会 山科病院  
堀川病院  
総合病院 京都南病院  
富田病院  
（社福）宇治病院  
府立舞鶴こども療育センター  
西京都病院  
国療宇多野病院  
京都通信病院  
京都武田病院  
ユニチカ中央病院  
京都社会事業財団 京都桂病院  
関西医科大学男山病院  
西京病院  
公立山城病院  
（社福）聖ヨゼフ会聖ヨゼフ整肢園  
関西医科大学附属洛西ニュータウン病院  
（医療）宇治徳洲会病院  
（医療）啓信会 京都きづ川病院  
（医療）医誠会 京都ルネス病院  
金井病院  
医療法人頌徳会比叡病院  
社団法人京都保健会京都民医連中央病院  
京都市桃陽病院  
第二岡本総合病院  
医聖会京都八幡病院  
花ノ木医療福祉センター  
京都府立医科大学小児疾患研究施設内科部門

**27:大阪府**

国立大阪病院  
大阪大学医学部附属病院  
大阪通信病院  
J R 大阪鉄道病院  
大阪府立病院  
大阪府立北市民病院  
大阪府立十三市民病院  
大阪府立大学病院  
市立枚方市民病院  
八尾市立病院  
泉大津市立病院  
市立泉佐野病院  
大阪赤十字病院  
済生会 中津病院  
大阪府済生会 泉尾病院  
済生会野江病院  
大阪府済生会 吹田病院  
大阪厚生年金病院  
松下記念病院  
大手前病院  
田附興風会 北野病院  
住友病院  
大阪掖済会病院  
日本生命済生会 日生病院  
聖バルナバ病院  
大阪附警察協会大阪警察病院  
（財）労働衛生センター第一病院  
（財）西淀病院  
浅香山病院  
（医療）きっこう会総合病院多根病院  
彰療会 大正病院  
景岳会総合病院 南大阪病院  
同仁会 耳原総合病院  
宝生会 P L 病院  
大阪医科大学病院  
関西医科大学附属香里病院  
関西医科大学病院  
関西電力病院  
大阪暁明館病院  
大阪回生病院  
淀川キリスト教病院  
真美会 中野こども病院  
寺西報恩会 長吉総合病院  
若弘会若草第一病院  
三世会森本病院  
錦秀会阪和住吉総合病院  
大阪府立総合医療センター小児循環器内科  
聖ハンナ病院  
石田病院  
三友会久松病院  
市立柏原病院  
大阪赤十字病院附属大手前整肢学園  
仙養会 北摂病院  
有患会 有沢総合病院  
近畿大学医学部堺病院  
国立循環器病センター  
市立松原病院  
和泉市立病院  
高槻赤十字病院  
星ヶ丘厚生年金病院  
阪南医療解放センター阪南中央病院  
清恵会病院  
岸和田徳洲会病院  
（医療）有患会香里ヶ丘有患会病院  
丸山会 八戸の里病院  
愛仁会 高槻病院  
近畿大学医学部附属病院  
大阪社会医療センター附属病院  
富田林病院  
信愛会 交野病院  
国療千石荘病院  
大阪府立羽曳野病院  
結核予防会大阪府支部大阪病院  
浪速医療生協 芦原病院  
（医療）公道会病院  
誠会 城東中央病院  
大道会 ボパース記念病院  
協和会 北大阪病院  
箕面市立病院  
茨木医誠会病院  
信愛会 新生病院  
祐生会 みどりヶ丘病院  
守口敬任会病院  
生協こども診療所  
徳洲会 八尾徳洲会総合病院  
阪南市立病院  
新金岡豊川総合病院  
恵生会病院

医誠会病院  
同友会 共和病院  
愛替会 浜田病院  
紀和会 正風病院  
生長会 ベルランド総合病院  
うえだ下田部病院  
市立藤井寺市民病院  
暁美会 田中病院  
大植会 葛城病院  
市立岸和田市民病院

**28:兵庫県**

国立姫路病院  
国療兵庫中央病院  
神戸大学病院  
関西労災病院  
兵庫県立尼崎病院  
兵庫県立塚口病院  
兵庫県立西宮病院  
神戸市立中央市民病院  
兵庫県立加古川病院  
明石市立市民病院  
市立三木市民病院  
公立豊岡病院  
西宮市立中央病院  
加古川市民病院  
市立川西病院  
市立伊丹病院  
公立八鹿病院  
公立御津病院  
赤穂市民病院  
市立西脇病院  
市立芦屋病院  
三田市民病院  
姫路赤十字病院  
柏原赤十字病院  
済生会 兵庫県病院  
社保神戸中央病院  
公学共済 近畿中央病院  
神戸済済会病院  
（医療）川崎病院  
総合病院 昭和病院  
（医療）明和病院  
鐘紡記念病院  
石川島播磨重工業健保組合健保組合播磨病院  
一道会渡辺病院  
児玉病院  
西神戸医療センター  
適寿リハビリテーション病院  
佐野伊川谷病院  
公立宍粟郡民病院  
樹徳会上ヶ原病院  
兵庫医科大学篠山病院  
公立香住総合病院  
（医療）一葉会 佐用共立病院  
砂子療育園  
自衛隊 阪神病院  
兵庫県立こども病院  
公立社病院  
公文病院  
（医療）薫風会 佐野病院  
明舞中央病院  
（医療）尚和会 第一病院  
須磨赤十字病院  
尼崎医療生協病院  
（医療）協和会協立病院  
財団法人甲南病院加古川病院  
神鋼加古川病院  
私立吉川病院  
国立療養所青野原病院  
兵庫県立柏原病院  
東神戸病院  
田所病院  
国立神戸病院  
市立加西病院  
神戸朝日病院  
医療法人慈恵会 新須磨病院  
神戸徳洲会病院  
神戸アドベンスト病院  
真星病院  
医療法人 パルモア病院  
宝塚市立病院  
医療法人順心会 順心病院  
医療法人伯鳳会 赤穂中央病院

**29:奈良県**

国立奈良病院  
奈良県立医科大学病院  
榛原町立榛原総合病院

大和高田市立病院  
町立大淀病院  
済生会 奈良病院  
奈良社会保険病院  
天理よろづ相談所病院  
土庫病院  
奈良県心身障害者リハビリテーションセンター  
国保中央病院  
国療西奈良病院  
天理市立病院  
奈良県立奈良病院  
奈良県立五條病院  
岡谷病院  
高の原中央病院  
奈良県立三室病院  
東生駒病院  
済生会 中和病院  
済生会 御所病院  
友紘会病院

### 30: 和歌山県

和歌山県立医科大学病院  
和歌山県立医科大学病院紀北分院  
海南市民病院  
公立那賀病院  
国保橋本市民病院  
有田市立病院  
国保日高総合病院  
総合病院新宮市立市民病院  
日本赤十字社和歌山医療センター  
済生会 有田病院  
医療法人共栄会名手病院  
白浜はまゆう病院  
那智勝浦町立温泉病院  
労働福祉事業団 和歌山労災病院  
和歌山生協病院

### 31: 鳥取県

鳥取大学病院  
鳥取県立中央病院  
鳥取県立厚生病院  
国保智頭病院  
鳥取県済生会 境港総合病院  
日野病院組合 日野病院  
博愛病院  
鳥取生協病院  
西伯町国民健康保険西伯病院  
県立皆生小児療育センター  
国療西鳥取病院

### 32: 鳥根県

大田市立病院  
国立浜田病院  
平田市立病院  
島後町村組合立隠岐病院  
松江赤十字病院  
済生会 江津総合病院  
津和野共存病院  
鹿島病院  
鹿部島根心身障害医療福祉センター  
吉生会吉岡病院  
町立広瀬病院  
松江生協病院  
島根医科大学病院  
国療松江病院  
安来第一病院  
西部島根心身障害医療福祉センター  
松江記念病院

### 33: 岡山県

国立病院岡山医療センター  
総合病院 岡山市立市民病院  
倉敷市立児島市民病院  
市立井原市民病院  
総合病院 岡山赤十字病院  
川崎医科大学附属川崎病院  
(財)志清会 岡山記念病院  
(財)倉敷中央病院  
(財)弘仁会 総合病院玉島病院  
総合病院 津山中央病院  
光生病院  
(医)水と和会 水島中央病院  
水島第一病院  
新見中央病院  
総合病院 落合病院  
柵原病院  
総合病院 水島協同病院  
さとう記念病院

岡村一心堂病院  
国保町立成羽病院  
柴田病院  
市立玉野市民病院  
旭川荘療育センター児童院  
川崎医科大学病院  
国立療養所南岡山病院  
重井医学研究所附属病院  
川鉄水島病院  
笠岡中央病院  
笠岡第一病院  
岡山労災病院  
倉敷北病院

### 34: 広島県

国立呉病院  
国立福山病院  
国療原病院  
国療広島病院  
広島鉄道病院  
広島通信病院  
県立広島病院  
県立安芸津病院  
社保広島市民病院  
世羅中央病院  
広島赤十字・原爆病院  
総合病院 三原赤十字病院  
総合病院 庄原赤十字病院  
広島厚生連農協 尾道総合病院  
厚生連 広島総合病院  
広島県厚生農協連 吉田総合病院  
広島県厚生農協連 府中総合病院  
日立造船健保因島総合病院  
広島記念病院  
呉共済病院  
中国電力株式会社 中電病院  
総合病院 三菱三原病院  
呉芸南病院  
済生会広島病院  
真愛病院  
国保上下病院  
広島市立舟入病院  
福山市市民病院  
広島医療生協広島共立病院  
広島市立安佐市民病院  
中国労災病院  
県立身体障害者リハビリテーションセンター  
因島市医師会病院  
総合病院三愛  
多田病院  
公立みつぎ総合病院  
あかね会 土谷総合病院  
正岡病院  
うすい会 高陽ニュータウン病院  
一陽会 原田病院  
樹章会 本永病院  
里仁会 興生総合病院  
福山循環器病院

### 35: 山口県

国立下関病院  
国立岩国病院  
山口大学病院  
下関市立中央病院  
総合病院 光市立病院  
小野田市立病院  
山陽中央総合病院  
豊田中央病院  
共立美東国保病院  
総合病院 山口赤十字病院  
済生会 下関総合病院  
周東総合病院  
小郡第一総合病院  
長門総合病院  
社保下関厚生病院  
社保徳山中央病院  
オープンシステム総合病院徳山医師会病院  
神徳会 三田尻病院  
新南陽市民病院  
日立病院  
山口労災病院  
鼓ヶ浦整肢学園  
和同会山ロリハビリテーション病院  
美祢市立病院  
国療山陽病院  
都志見病院  
元洋会 森山病院  
松涛会 安岡病院  
国療柳井病院

済生会 山口総合病院  
宇部興産 中央病院  
宇部協立病院

### 36: 徳島県

国療徳島病院  
徳島県立中央病院  
徳島県立三好病院  
徳島市民病院  
町立半田病院  
徳島赤十字病院  
阿南共栄病院  
厚生連 麻植協同病院  
健保鳴門病院  
阿南医師会中央病院  
松風会 江藤病院  
徳島健生病院  
徳島県立海部病院  
(医療) 原田病院  
阿波病院  
田蔭病院  
徳島県立ひのみね整肢医療センターひのみね学園  
(医) 静可会三加茂田中病院

### 37: 香川県

国立善通寺病院  
香川県立中央病院  
大川総合病院  
土庄中央病院  
総合病院 坂出市立病院  
三豊総合病院  
高松赤十字病院  
屋島総合病院  
滝宮総合病院  
麻田総合病院  
深田記念会松井病院  
内海病院  
赤心会赤沢病院  
国療香川小児病院  
香川県済生会病院  
坂出聖マルチン病院  
香川医科大学病院  
香川県身体障害者総合リハビリテーションセンター医療センター  
香川町国民健康保険香川病院  
高松平和病院  
大樹会総合病院 回生病院  
香川井下病院

### 38: 愛媛県

国療愛媛病院  
愛媛県立今治病院  
愛媛県立伊予三島病院  
愛媛県立南宇和病院  
町立野村病院  
市立宇和島病院  
町立吉田総合病院  
町立津島病院  
総合病院松山赤十字病院  
西条中央病院  
住友別子病院  
新居浜協立病院  
高岡眼科・小児科診療所  
国療南愛媛病院  
公立学校共済組合四国中央病院  
愛媛労災病院  
(財法) 積善会附属十全総合病院  
更生会 村上記念病院  
繁愛会 石川病院  
公立周桑病院  
北辰会 まなべ病院  
済生会今治病院  
美須賀病院  
松山ベテル病院  
大洲市立大洲病院

### 39: 高知県

国立高知病院  
高知県立中央病院  
高知市立市民病院  
土佐市立土佐市民病院  
佐川町立高北国保病院  
高知県農協総合病院  
柳瀬病院  
公世会野市中央病院  
幡多けんみん病院  
島本病院  
第1希望の家

高知医科大学病院  
(医療)高田会 高知記念病院  
高知県立安芸病院  
長生会 大井田病院

#### 40:福岡県

国立小倉病院  
国立病院九州医療センター  
国療南福岡病院  
国療福岡東病院  
久留米大学医療センター小児科  
九州大学病院  
福岡通信病院  
福岡県立柳川病院  
北九州市立門司病院  
北九州市立医療センター  
北九州市立八幡病院  
大牟田市立総合病院  
町立頼田病院  
公立八女総合病院  
福岡赤十字病院  
福岡赤十字病院  
筑前山田赤十字病院  
福岡県済生会 福岡総合病院  
九州厚生年金病院  
新小倉病院  
浜の町病院  
公立学校共済 九州中央病院  
小倉中井病院  
福岡鳥飼病院  
福岡記念病院  
聖マリア病院  
久留米大学病院  
三井大牟田病院  
麻生セメント(株) 飯塚病院  
新栄会病院  
社保小倉記念病院  
宗像医師会病院  
福岡青州会病院  
やまびこ学園  
宗像水光会総合病院  
みさき病院  
筑豊労災病院  
九州労災病院  
千早病院  
恵光会 原病院  
森本クリニック  
国立病院九州がんセンター  
鞍手町立病院  
聖ヨゼフ園  
慈恵曽根病院  
正信会 水戸病院  
ゆうかり学園  
町立芦屋中央病院  
産業医科大学病院  
福岡大学病院  
北九州総合病院  
福岡市立こども病院・感染症センター  
感染症科  
福岡リハビリテーション病院  
米の山病院  
徳洲会 福岡徳洲会病院  
太刀洗病院  
丸山病院  
健和会 大手町病院  
牧山中央病院  
川崎町立病院  
(医療)敬天会 東和病院  
福岡市民病院  
寺沢病院  
牟田病院  
和白病院  
菅原病院  
水巻共立病院  
健和会京町病院  
新田原聖母病院  
福岡県立粕屋新光園  
社会保険仲原病院  
井上会 篠栗病院  
福岡大学筑紫病院  
相生会 宮田病院  
糸田町立緑ヶ丘病院

#### 41:佐賀県

国立佐賀病院  
国立嬉野病院  
佐賀県立病院 好生館  
伊万里市立市民病院  
佐賀社会保険病院  
ひらまつ病院

佐賀整肢学園  
古賀小児科内科病院  
国療東佐賀病院  
社保浦之崎病院  
国立肥前療養所  
前田病院  
佐賀医科大学病院  
清明会 鹿毛病院  
静便堂 白石共立病院  
順天堂病院  
至慈会 高島病院

#### 42:長崎県

国療川棚病院  
国立小浜病院  
長崎大学病院  
長崎市立市民病院  
佐世保市立総合病院  
大村市立病院  
北松中央病院  
老岐公立病院  
健保諫早総合病院  
佐世保共済病院  
長崎記念病院  
(医療)白十字会佐世保中央病院  
長崎造船所病院  
医療法人栄和会泉川病院  
柴田長庚堂病院  
愛野記念病院  
博愛会哲翁病院  
県立整肢療育園  
国保平戸市民病院  
医療法人医理会柿添病院  
長崎原爆病院  
国療長崎病院  
長崎県済生会病院  
諫早療育センター  
中対馬病院  
対馬いづはら病院  
田上病院  
萌愛会長崎セント・ノーヴァ病院  
平成会 女の都病院  
赤木病院  
上五島病院

#### 43:熊本県

国療再春荘病院  
熊本大学医学部附属病院  
N T T 西日本九州病院 小児科  
自衛隊熊本病院  
熊本市市民病院  
阿蘇中央病院  
小国公立病院  
球磨郡公立多良木病院  
熊本赤十字病院  
八代総合病院  
熊本中央病院  
慶徳加来病院  
熊本県こども総合療育センター  
熊本労災病院  
天草慈恵病院  
愛育会 福田病院  
くわみず病院  
熊本循環器科病院  
杉村会杉村病院  
天草地域医療センター  
谷田会谷田病院  
聖和会有明成仁病院  
牛深市民病院  
坂本病院  
芦北学園発達医療センター  
熊本地域医療センター  
公立玉名中央病院  
山鹿市立病院  
保利病院  
国療菊池病院  
坂梨会 阿蘇温泉病院  
丸田病院  
はまゆう療育園  
熊本託麻台病院  
童山病院  
玉名地域保健医療センター  
菊池中央病院  
城南病院

#### 44:大分県

国立別府病院  
国療西別府病院  
中津市民病院

大分県立病院  
東国東広域国保総合病院  
山香町立国保総合病院  
大分県厚生連鶴見病院  
津久見市医師会立津久見中央病院  
藤本小児病院  
大分県済生会日田病院  
別府発達医療センター  
大分市医師会立アルメイダ病院  
大分医科大学病院  
健保南海病院  
医療法人財団天心堂へつぎ病院  
大分岡病院  
長門莫記念会 長門記念病院  
大分県立三重病院  
竹田医師会病院

#### 45:宮崎県

県立宮崎病院  
県立日南病院  
小林市立市民病院  
高千穂町国保病院  
串間市国保病院  
都城市郡医師会病院  
育生会井上病院  
国療宮崎東病院  
宮崎医科大学付属病院  
宮崎県済生会日向病院

#### 46:鹿児島県

鹿児島大学病院  
鹿児島市立病院  
出水市立病院  
オレンジ学園  
田原病院  
鹿児島こども病院  
国分生協病院  
児玉上前共立病院  
沖永良部徳洲会病院  
医療法人義順顕彰会 田上病院  
県立大島病院  
国療南九州病院  
総合病院鹿児島生協病院  
やまびこ医療福祉センター  
済生会 川内病院  
昭南病院  
鹿児島市医師会病院  
鹿児島県立薩南病院  
県立北薩病院  
徳洲会 鹿児島徳洲会病院  
財団法人今給黎総合病院  
薩摩郡医師会病院

#### 47:沖縄県

北部病院  
球陽会 海邦病院  
陽心会 大道中央病院  
社団法人北部地区医師会病院  
上村病院  
沖縄セントラル病院  
県立北部病院  
総合病院沖縄赤十字病院  
沖縄県立那覇病院  
県立八重山病院  
沖縄協同病院  
沖縄整肢療護園  
友愛会 豊見城中央病院  
沖縄徳洲会 南部徳洲会病院  
もとぶ野毛病院  
与勝病院  
中部徳洲会病院  
中部協同病院  
潮平病院  
沖縄県立沖縄療育園  
八重瀬会 同仁病院  
与那原中央病院

# 川崎病調査票（第16回全国調査）

お願い

- 平成11年1月1日～平成12年12月31日の2年間に発症し貴施設に受診した患者全員について記入して下さい。
- 症例がない場合も本調査票のQ1.「施設に関する質問」をご記入の上、ご返送下さい。
- 他施設へ紹介した患者、他施設から紹介された患者も含めます。

←住所、電話番号の誤りは朱書にてご訂正下さい。

返送先  
〒329-0498 (自治医大専用郵便番号)  
栃木県河内郡南河内町薬師寺3311-1  
自治医科大学公衆衛生学気付  
川崎病研究班 疫学調査事務局  
Tel (0285-44-6192, 0285-58-7338)  
Fax (0285-44-7217)

2000.12 厚生省川崎病のサーベイランスとその治療法に関する研究班作成

NO.	患者氏名(イニシャル) 例:川崎太郎=KT 姓・名の順	発病時患者住所 (市区町村名まで)		性	生年月日	初診年月日	初診時 病日	診断の 確実度*	ガンマグロブリン投与(貴院分)		今回の 発症	検査所見 (初診時)	同胞例	両親の川崎病 既往歴	心 障 害#		死亡+
		投与ありの場合	投与なしの場合						急性期(1か月以内)	後遺症(1か月以降)							
		都道	市区	1 男	昭・平__年	平成__年		1 確実 A	1 なし	投与開始__病日	1 初発	Hb __g/dl	1 なし	1 なし	1 なし	1 なし	1 なし
		府県	町村	2 女	__月__日	__月__日	病日	2 確実 B	1日__mg/kg×__日		2 再発	ALT (GPT) __IU/l	2 あり(父・母)	2 あり(父・母)	2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄	2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄	2 あり
								3 容疑	2 あり	追加投与 1なし 2あり		血清Na __mEq/l	3 不明	3 不明	6 心筋梗塞 7 弁膜病変	6 心筋梗塞 7 弁膜病変	

## Q1. 施設に関する質問 (本調査票を2枚以上使用の場合は1枚目にご記入下さい)

- 貴院のベッド数はいくつですか。  
病院全体\_\_床 小児科一般病床\_\_床
- 貴院の小児科医は何人ですか。  
常勤小児科医\_\_人 非常勤小児科医\_\_人
- 貴院では川崎病患者に対するガンマグロブリンの基本的な投与方式を決めていますか。  
1 はい ( \_\_mg/kg×\_\_日間)  
2 いいえ
- 貴院では川崎病患者全員にガンマグロブリンを投与しますか。  
1 全員 2 一部の患者  
2の場合の選択基準 1 原田のスコアによる 2 その他 ( )
- 貴院で川崎病患者に使用するガンマグロブリン製剤の商品名(主なもの1種類)は何ですか。  
商品名\_\_
- 貴院ではガンマグロブリン不応例にどのように対応していますか。  
1 ガンマグロブリン再投与 2 ステロイド・抗炎症療法  
3 γグロブリン等で様子を見る 4 状況によって異なる  
5 その他 ( )
- 貴院では平成12年1年間に小児の冠動脈造影を何例実施しましたか。(他施設で実施した例を除く) 1 1-4例 2 5-9例 3 10-19例  
4 20-49例 5 50例以上 6 実施しない

\*診断の確実度 ( 確実A: 6つの主要症状のうち5つ以上の症状あり  
確実B: 4つの症状しかないが冠動脈瘤(拡大)を伴う ) として記入して下さい。  
容 疑: 診断の手引きに合致しないが疑いがある

#心障害 該当するものすべてに○を付けてください。(巨大瘤は直径8mm以上をいいます)  
+死 亡 「あり」の場合はQ2.「死亡例に関する質問」の欄にも記入して下さい。

## Q2. 死亡例に関する質問 (今回の報告のみでなく、前回生存として報告され、後に死亡した例も含めて記入して下さい)

患者氏名(イニシャル) 姓・名の順	性	生年月日	川崎病初診年月日	死亡年月日	剖検の有無	死亡原因等
	1 男	昭・平__年	昭・平__年	平成__年	1 なし	
	2 女	__月__日	__月__日	__月__日	2 あり	
	1 男	昭・平__年	昭・平__年	平成__年	1 なし	
	2 女	__月__日	__月__日	__月__日	2 あり	